

KIT-AC

“部活動の活性化に向けた” 座談会

参加者一覧

OB

木村 (S 3 6 卒)
伊東 (S 4 4 卒)
藤田 (S 4 4 卒)
中西 (S 5 0 卒)
近藤 (S 5 4 卒)
山下 (H 1 卒)
石丸 (H 1 8 卒)
徳永 (H 1 9 卒)
北垣 (H 2 0 卒)

現役

西立野 (6 回生)
村田 (5 回生)
岩田 (5 回生)
飯田 (4 回生)
八尋 (4 回生)
坂元 (3 回生)
原健 (3 回生)
久原 (2 回生)
穴井 (2 回生)
茶堂 (1 回生)
福田 (1 回生)
増谷 (1 回生)
松邨 (1 回生)
松本 (1 回生)

自動車部の現在の活動

◎2012 年度 年間スケジュール

- 4月 新入生歓迎会
- 5月 学連ダートトライアル
ACK スプリングラリー
- 6月 学連ジムカーナ
- 8月 ACK サマーラリー
大学自動車部 強化合宿 (モビリティおおむた)
- 9月 部内旅行 (1泊2日)
- 10月 学連ジムカーナ
- 11月 KIT ナイトラリー
工大祭
幹部交代
- 12月 学内マラソン
- 3月 追いコン

◎自動車部の主な活動内容

1. 全九州学生自動車連盟 (以下、学連) が主催する

ジムカーナ・ダートトライアルへの参戦

年に1回のダートトライアル、年に2回のジムカーナに参戦している。

連盟委員は現在、九州大学と九州工業大学の委員で構成されており、

九州工業大学からは3名の連盟委員を出している。

また、大会では、選手として参加しない部員はオフィシャルとして参加している。

今年度の学連での成績

全九州学生ダートトライアル選手権大会	団体の部	第5位
全九州学生ジムカーナ大会	団体の部	第8位
	個人の部	第5位 (飯田)

2. KIT ナイトラリーの主催

JAF (JMRC 九州) Jr 戦として、毎年11月に開催している。

今年で50回を迎える、伝統的な活動の一つである。

自動車部が主体となり、ラリーの作成・運営を行う。

準備の主な内容は、

- ・役所、警察等公的機関の許可をもらう
- ・コース付近の民家を回り、道路使用の承諾を得る
- ・規則書、指示書等の書類の作成、ラリー設定
- ・ラリー当日の競技運営全般

などがある。

また、ここ数年は学連の全九ラリーの代替競技会となっている。

3. 北九州オートクラブ (ACK) が主催するラリーの準備

ACKの主要メンバーとして、

5月に開催されるスプリングラリー、

8月に開催されるサマーラリーの準備をしている。

4. フィギュアによる運転技術の向上

基準タイムを設け、そのタイム以内にクリアすることで、

エルフの運転資格やパスカードの取得等が認められる。

車を持たない部員でも運転する機会がある活動内容であり、

運転技術の向上、車幅感覚の育成を目指す。

5. 車両整備

部車のほか、個人所有の車の整備を行う。下級生はタイヤ交換等簡単な作業から行い、先輩から技術を学び、次の世代に教えていく、という形態をとっている。

しかし、整備自体は不定期であり、常に整備中に下級生が立ち会うことができているのが現状である。

6. ブログの運営

旧ブログから新ブログに移行し、日々の活動内容を更新している。

多くの大学自動車部が利用しており、部員全員参加型で利用できるほか編集がしやすいこと等が移行の理由である。

<http://minkara.carview.co.jp/userid/1155636/blog/>

7. 責善会体育会での活動

毎年体育会によって選ばれた部活から、体育会委員を一人選出しなければならない。
現在、穴井（2回生）が体育会委員として会計を務めている。

8. オートポリスで行われるレース、他クラブの主催する

ジムカーナ・ダートトライアル・ラリー等のオフィシャル活動

SUPER GT、全日本ジムカーナ、全日本ダートトライアルの他、
全日本ラリーといったイベントにオフィシャルとして参加している。
また、近隣のクラブが主催するジムカーナやダートトライアルにも
オフィシャルとして参加している。

9. JAF 競技会への参加

現在自動車部からは、飯田（4回生）が

JMRC 九州ジムカーナ Jr シリーズの R-FF2 クラスに参戦している。

第1戦	V・洞海 GYMKHANA FESTIVAL 2012	第2位
第2戦	マールジムカーナ	第1位
第3戦	デイリーカップ 極乗 ジムカーナ 2012	第2位
第4戦	スプラインジュニアチャレンジジムカーナ 2012	第2位
第5戦	グラベルマインドジムカーナ 2012 パートII	第2位

また、ラリー競技にも参戦している。

JMRC 九州ラリーチャンピオンシリーズ 第3戦

MCA CAPRICCIO 2012 ナビゲーター／渡辺（4回生）

JMRC 九州ラリージュニアシリーズ 第2戦

2012 ACK Summer ラリー ドライバー／飯田（4回生）

部員数増加について

◎新入生歓迎会での活動

車離れが進んでいる中、この数年のうち自動車部に興味を持ち入部する人は多いとは言えず、部員数は現在の1回生を除いて10人と少なめであった。そこで部員数増加のために、今年は、4月に体験入部に訪れた新入生を対象に実際にカートに乗って走る体験入部を実施した。また、これまで通りフィギュアでの運転体験も実施した。その成果もあってか、今年はこれまでと比べても明らかに多い人数である6人の1年生が入部した。今後も継続して部員数増加を目指した活動を続けていく。

責善会部費増額について

今年は去年以上の部費支給が認められた。

◎要因

- ・部員の増加
 - ・エルフの車検、部車のSA化など、今年の出費が多額である点
 - ・主将、ラリー委員長が体育会会長と交流を持っていたことから、交渉がスムーズに通ったという点
 - ・体育会委員を自動車部から選出したという点
- などが考えられる。

◎課題

前述したように今年の出費が多額であるため、部費が増加したとはいえ、経済的に余裕ができたとは言えない。より活発な活動をするには来年も部費を維持する必要がある、そのための活動は欠かせない。

部車（SA 車：ナンバー付き車両）確保について

◎SA 車両確保の理由

これまでの部車はナンバーが付いておらず、競技場まで運ぶために積車が必要であった。しかし平成 19 年に道路交通法が改正され、中型免許が追加された。年齢制限等で、大学生で積車を運転することが難しくなり、近年は積車の運転を OB の方をお願いするという形をとっていた。SA 車両を取得することで、自分たちで競技場まで公道を使って走れる、練習会にも積極的に参加できる、部車の活動の幅が広まる、というメリットがあることから、今年から SA 車両確保へと動き始めた。

◎現在の状況

以前、レビン部車にすることに決定したと OB 会 HP の方へお伝えしたが、再度、部会で話し合った結果、部品の確保の問題等で再検討となった。現在は、C 車両（ナンバー無し）のスターレット（EP82）ダートラ仕様を保有している。

現在の自動車部の課題

- ・個人で車を持っている部員が少ない。
- ・部費はエルフの維持管理で、そのほとんどを使いきってしまう。

部の希望

- ・全日本の学生大会に出る
- ・ラリーの JAF 戦に部として参加する
- ・学連以外の練習代、大会参加費を部費から負担
- ・備品（タイヤ・ヘルメット等）の充実
- ・部のユニフォームの作成